

中東リスクで急浮上する「脱ナフサ」

リスパック関西工場、60 億円を投じバイオマスプラスチック容器増産体制へ

～脱ナフサ時代を見据え、バイオマスプラスチック事業への前倒し投資を実施～

総合プラスチックメーカー岐阜プラスチック工業グループの、プラスチック食品容器部門リスパック株式会社（本社：岐阜市、大松栄太社長）は、バイオマスプラスチック容器の供給体制のさらなる強化とスマートファクトリー化に向け、関西工場の「第 2 期工事」に着工いたします。今回の投資は、単なる生産設備の増強ではなく、脱ナフサ、資源自立化という社会変化を見据え、バイオマスプラスチック事業を当社の中核事業へと発展させるための戦略投資です。

■ 石油依存脱却へ 安定供給と価格面で追い風

2026 年春以降の中東情勢の混乱に伴い、プラスチック原料の基礎原料であるナフサの調達リスクが顕在化しました。「脱ナフサ」という考え方が産業界で注目される中、石油資源への依存を低減し、安定した資源調達につながる植物由来プラスチックへの注目が集まっています。

また、世界各国では植物由来プラスチックの原料製造プラントへの投資が進み、生産能力の拡大が相次いでいます。こうした世界的な供給基盤の整備も背景に、植物由来プラスチックは環境対応だけでなく、資源の安定確保という観点からも、その重要性が高まっています。

さらに、脱炭素社会の実現に向けた世界的な取り組みが加速する中、国内では「プラスチック資源循環促進法」や 2026 年 4 月に施行された「改正資源有効利用促進法（改正資源法）」により、再生可能資源（リニューアブル資源）の活用拡大が求められています。

■ バイオマスプラスチック容器の売上比率 65%から 80%へ

リスパック関西工場は、植物由来のバイオマスプラスチック食品容器の生産拡大を目指す次世代型パッケージ工場として、2024 年 4 月に稼働を開始しました。稼働当初は 9 素材、4,600 アイテムだったバイオマスプラスチック食品容器のラインアップも、環境配慮型製品へのニーズの高まりを受け、現在では 11 素材、5,400 アイテムへと拡大しています。

当社はこれまで、植物由来素材の研究開発から量産技術の確立まで、長年にわたりバイオマスプラスチック製品の普及に取り組んできました。脱ナフサや資源自立化という社会の変化を背景に、これまで培ってきた技術とノウハウが、新たな事業機会につながる段階を迎えています。

今回の第 2 期工事は、こうした市場環境の変化を捉え、当初計画していた設備拡張を前倒しして実施するものです。需要拡大への対応と安定供給体制の強化を図るとともに、バイオマスプラスチック事業を当社の中核事業へと発展させるための戦略投資と位置付けています。

当社のバイオマスプラスチック製品は、環境意識の高まりを背景に需要が拡大しており、容器売上全体に占める植物由来バイオマスプラスチック製品の割合は、現在 65%に達しています。弁当容器本体として使用される PPF 製

品は、すでに全製品で植物由来バイオマスプラスチックを採用しています。さらに、透明容器として使用される A-PET 製品についても、今後順次、植物由来素材への切り替えを進めてまいります。これらの取り組みにより、バイオマスプラスチック製品の売上比率を 80% まで高めることを目指します。

■「原料調達～製品化～再資源化」を目指す循環資源モデル

今回の第 2 期工事では、バイオマスプラスチック製品の生産能力を高めるだけでなく、品質向上とコスト競争力の強化を図るスマートファクトリー化を推進します。生産・物流インフラの拡張や工程の自動化、AI をはじめとするデジタル技術、ロボットの活用などを通じ、より効率的で安定した生産体制の構築を目指します。

さらに当社では、植物由来樹脂の一つであるポリ乳酸（PLA）の乳酸成分を回収し、エネルギー資源として再利用するガス化技術の研究にも取り組んでおります。原料調達から製品化、再資源化までを見据えた循環型社会の実現に向け、次世代の資源循環モデルの構築を目指してまいります。

今後も当社は、バイオマスプラスチック技術をさらに進化させるとともに、植物由来プラスチックの新素材開発および新製品開発を一層強化し、環境に優しく暮らしに役立つ食品パッケージをお届けしてまいります。

■ リスパック関西工場「第 2 期工事」の概要

投資規模・内容	60 億円（成形エリア新設、自動ラック倉庫増設、既存工場のスクラップ&ビルド）
生産能力	既存設備比で約 1.5 倍の生産能力および人員配置最適化による大幅なコスト改善
バイオマスプラスチックの売上構成比	全容器売上に占めるバイオマスプラスチック容器比率を現在の 65% から 80% へ引き上げ
スケジュール	2026 年 12 月増築着工 → 2028 年より本格稼働（予定）

■ リスパック関西工場「第 2 期工事」完成イメージ図

